

## 郷土資料館豊原分館が開館しました。

豊原分館は、平成21年(2009)3月に閉校となった旧豊原小学校を活用し、郷土資料館所蔵資料の収蔵展示、根釧パイロットファーム開拓資料館資料、旧豊原小学校関係資料を一般公開する目的で開館しました。

町の歴史・自然に関する郷土資料、昭和31年(1956)より、豊原地区で実施された国の新しい開拓方式による草地酪農を目指した根釧パイロットファーム関係資料などを収蔵・展示・公開していますので、ぜひ、ご来館下さい。



豊原分館外観



郷土資料館所蔵資料の収蔵展示（右-農機具、左-生活資料）



町の農業の歴史を紹介



根釧パイロットファーム関係資料の展示



### 豊原分館について

- 開館期間：5月～10月
- 開館日：毎週金曜日・毎月最終日曜日
- 開館時間：午前10時～午後4時
- 観覧料：無料
- 所在地：北海道野付郡別海町豊原17番地の15
- その他：①団体見学及び調査研究での来館は、郷土資料館までご連絡ください。  
②開館日などに変更があった場合は、郷土資料館ホームページにてお知らせします。

## ふるさと講座・歴史系第1回目を実施しました。 歴史の道を歩く！江戸時代のハツケ ～野付通行屋跡・番屋跡遺跡

- 日 時 平成28年4月24日（日）  
午前9時30分～13時30分
- 場 所 野付半島ネイチャーセンター、  
野付通行屋跡・番屋跡遺跡
- ガイド 別海町郷土資料館 石渡一人  
野付半島ネイチャーセンター  
草薙亜紀子氏
- 参加者 58名

今年度は、根室振興局北方領土遺産ツアーとの共催により通常定員の2倍の方の参加をいただきました。

野付半島ネイチャーセンターで40分ほどレクチャーを行いました。その後、通行屋跡遺跡入口まで車で移動し、そこから約2km歩きます。オジロワシ・ヒバリ、ヒドリガモなどの野鳥、エゾシカの群れを観察しながら遺跡に到着しました。土塁、墓石、建物跡、畑の畝跡などを実際に見ながら、江戸時代の様子に思いを馳せました。

### 「野付通行屋と漁番屋群」

野付通行屋は幕府の蝦夷地直轄に伴う陸路・海路の整備を目的に寛政11年（1799）に野付半島の先端付近に設置されました。国後島や根室・厚岸・目梨方面の交通の拠点としての役割を持っていました。通行屋、下宿所、蔵などが建てられ支配人とその妻、アイヌの人足が詰めていたようです。安政年間頃（1854～1859）にこの通行屋の支配人をしていたのは、「加賀家文書」を書き残した加賀伝蔵で、松浦武四郎による記述など多くの文献史料に登場します。その中でも畑を開き作物を栽培したとの記録があり、現在でも野付通行屋跡遺跡には、畑の畝跡が広い範囲で確認することが出来ます。その他、建物跡やお墓も残り、当時の生活に思いをはせることが出来ます。

さらに対岸の外海側には、漁番屋群があり、春の鯨漁の時期になると根室地方の各番屋から人々が集まり、居小屋、蔵などが50～60軒建ち並び出張番屋群が形成されました。満潮時には海水下ですが、食器や鉄釜などの多数の遺物が数散乱しており、道内でも、遺跡と文献史料が残る珍しい場所となっています。



別海町郷土資料館だより No.202

発行日 平成28年5月2日

発行所 別海町郷土資料館  
別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

ふるさと講座はいつもより多くの方に参加いただき、当町が誇る近世の遺跡を見ていただきました。また、先日登別市で開催された北海道考古学会研究大会においても、野付の遺跡を紹介する機会を与られました。浸食による影響は今後も続きますが、常に状況確認が必要かと思ひます。(K.I)